

2月5日：テト休暇を前に続伸か

ベトナム株はテト前の2営業日での続伸が期待されている。しかし資金流入は減少しセクターによってまちまちの動きになると予想される。

VN指数は1.32%高の1,126.91ポイントで取引を終えた。

先週合計で6.65%上昇していた。

ホーチミン取引所の出来高は平均で5億9870万株、売買代金にして13.5兆ドンほどであった。

バオベト証券は、今週の2営業日での上昇を予想する。1,115-1,118ポイントの節目を上回り、VN指数は1,180-1,200ポイントの強い抵抗線に向かうと予想される。

テト休暇が近づくとつれて投資家は取引を控えるため、資金流入は減少すると思われる。

結果として銘柄によってまちまちの動きとなると同社は予想した。

また、同社は株への投資比率は50%から70%に留めるべきと述べた。

現金比率の高い投資家は調整をした時には押し目買いに動くべきだと勧めた。

株への投資比率が高く、信用取引を使っている投資家は、上昇した際には利益確定をしてリスクを減らすべきだと語った。

MB証券はその他の世界の株式市場に従って上昇すると予想する。

国内投資家は強気で、テト休暇が近づいても警戒感は出ていない。幅広い銘柄に買いが入っており、今後も上昇が見込めると同社は予想している。

上昇を継続するが、1,170ポイント付近では下落圧力を受けるかもしれないと同社は述べた。

ロンベト証券によると、金曜日の取引では売り圧力はそれほど多くなかったとされる。

それゆえに、短期的な利益確定圧力を市場は消化した。今後も上昇を続けるだろうと同社は予想した。

投資家は今後も上昇に期待できるが、テト前のリスクを避けるために信用取引を使うのは避けるべきだと同社は忠告した。

IT セクターが先週は大きく上昇した。FPT コーポレーション (FPT) は 16.3%高、CMC コーポレーション (CMG) は 4%高となった。

BIDV 銀行 (BID) は 4.8%高、MB 銀行 (MBB) は 5.5%高、アジアコマーシャル銀行 (ACB) は 6.3%高、ベトコムバンク (VCB) は 7.5%高、サイゴンハノイ銀行 (SHB) は 10.3%高、テクコムバンク (TCB) は 13.4%高、ベティンバンク (CTG) は 17.4%高、VP バンク (VPB) は 23.3%高となった。

石油ガスセクターも上昇した。ペトロリメックス (PLX) は 6.5%高、ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS) は 10.8%高、ペトロベトナムドリリング (PVD) は 12.7%高、ビンソン製油は 14.6%高となった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。